

川名ひろあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411



千葉県の活性化めざし

令和5年度・県政報告

9月県議会・自民党代表質問から

本年4月の県議選で、8期目の当選を果たした君津市選出の川名寛章議員は、議長経験者として県政をリードし、千葉県の抱える様々な課題に果敢に挑み続けています。今号では、1面では、9月議会でお伝えした質疑から6年度予算案等をお伝えするとともに、2面では、川名議員が所属する議員連盟での活動の一端をご紹介します。

防災対策

台風13号の被害

自民党代表 台風13号の接近による道路、河川等の公共土木施設の被害状況と、復旧見通しはどうか。

副知事 県が管理する道路では、県北東部や南部を中心に冠水や土砂崩れなどが発生し、78カ所が全面通行止めとなりましたが、9月19日時点で6カ所となっています。

また、一宮川や養老川など23河川で越水が発生し、193カ所の護岸崩落等の被害を確認しています。

被災した箇所については、応急対策を実施し、今後

公共土木施設災害復旧事業等を活用して、1日も早い復旧に努めてまいります。

副知事 山間部を中心に線路の路盤流出等が複数箇所発生し、復旧作業に時間を要するため、一部区間では現在も運行できない状況で、全線での運行再開には時間がかかる見込みです。

副知事 国からは、冬の感染拡大を想定し、引き続き重症者等に対象を重点化して病床を確保していくこと

副知事 国からは、冬の感染拡大を想定し、引き続き重症者等に対象を重点化して病床を確保していくこと

9月補正予算

9月補正予算の力点

自民党代表 令和5年度9月補正予算は、どんな点に力を入れ編成したのか。

知事 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこと等により、社会経済活動が本格的に再開したことなどを踏まえ、生産性向上や省エネ等に

令和6年度当初予算

令和6年度の当初予算

自民党代表 令和6年度当初予算はどのような考えで編成するのか。

知事 令和6年度は総合計画における実施計画の最終年度であることから、基本目標の実現に向けこれまでの取組を踏まえながら、経済活性化や社会基盤の整備子育

新型コロナウイルス対策

今後の新型コロナウイルス対策

自民党代表 今後、冬に向けて感染が拡大した際には、どのような対応していくのか。

知事 国からは、冬の感染拡大を想定し、引き続き重症者等に対象を重点化して病床を確保していくこと

日本製鉄の排水対策

日本製鉄への対応

自民党代表 事業場の排水対策について評価書の公表と併せて日本製鉄に文書指導したが今後の対応はどうか。

副知事 日本製鉄が一度とこのような事態を引き起こさないよう、同社が示した再発防止策に加え、排水に起因するリスクの把握や継続的な教育内容の見直し、操業部門に

休日部活動の地域移行

地域移行へ情報発信

自民党代表 公立中学校の休日部活動の地域移行について、現在の取組状況と今後の進め方はどうか。

教育長 県教育委員会では、8市町による実証事業への支援のほか、指導者の確保に向けた広域人材バンクの設置、各教育事務所に配置した総括コーディネーターによる市町村の状況把握や助言、関係団体との連絡調整などの取組を進めています。

中小企業の支援

千葉県独自の補助実施

自民党代表 県内経済の回復を確かなものとするため、県は、どのように中小企業を支援していくのか。

知事 9月の補正予算において、DXによる省力化業務効率化や新事業の展開、新商品開発など、中小企業が生産性向上を図るための

●県政や君津市のご相談、ご意見をお聞かせください

川名ひろあき 県事務所

〒299-1152 君津市久保3-11-4 TEL.0439-57-0105



台湾では、農林水産物の輸入制限撤廃等を要望。左から熊谷知事、鄭文燦・行政院副院長、右端が川名議員

輸入制限撤廃など要望

知事とともに台湾訪問

令和5年11月15～18日の4日間、自民党日台友好親善議員連盟のメンバーとして、熊谷俊人知事とともに台湾を訪問してきました。台湾は、桃園市が千葉県

と姉妹都市協定を締結しており、教育、文化、スポーツなど幅広く交流を重ねています。(※桃園市は、首都台北に近く桃園国際空港のある都市で人口約228万人)今回は、千葉県農林水産

物のPR、観光客や企業の誘致のほか、東日本大震災以来続いている農林水産物の輸入制限の撤廃に向けて、要望活動を行いました。日本の副首相に当たる鄭文燦行政院副院長とも面談し、千葉県の思いを直接伝え、手応えを感じることができました。(川名寛章)

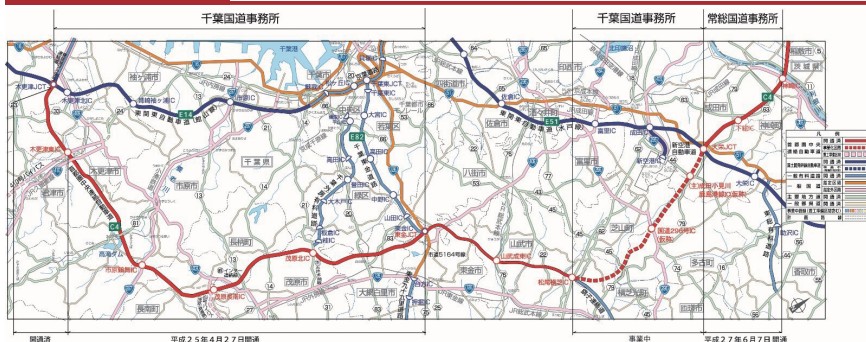
看護職の定着推進を

千葉県看護協会が要望

公益社団法人千葉県看護協会は8月2日、千葉県知事あてに要望書を提出した。自民党看護問題対策議

不足すると推計されている。このため、同協会では、令和6年度の千葉県予算編成に当たって①地域における看護職の定着確保の推進②質の高い看護の提供体制の構築・推進など5項目について要望した。

圏央道 確実な開通を要望



議員連盟の一員として

特定の目的達成のために活動する「議員連盟」は、千葉県議会、自民党に多く設置され、川名議員は「有害鳥獣対策」議員連盟などの一員として積極的に活動しています。そのうち「圏央道推進」、「日台友好親善」、「看護問題対策」について紹介します。

4車線化なども要望

川名寛章議員が顧問を務める千葉県議会首都圏中央連絡自動車道(圏央道)議員連盟は、11月28日、建設促進県民会議など、財務省国土交通省を訪れ、圏央道の未開通区間である大栄ジャンクション(JCT)松尾横芝インターチェンジ(IC)間について2026年度開通を確実に達成するよう要望



進捗状況を確認。君津市選出の川名寛章議員は9月6日、顧問を務める千葉県議会議員首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟(圏央道推進)による圏央道の現地視察に参加し、県内で整備が進められている「神崎IC」大栄JCT・松尾横芝ICの進捗状況を確認した。

視察箇所は令和6年度の4車線化を予定している「神崎IC」大栄JCTで1箇所。所管内で唯一の未開通区間で令和6年度の開通が困難となった「大栄JCT」横芝ICで3箇所の計4箇所。進捗状況は次のとおり。



早期実現キャンペーン

川名寛章議員が顧問を務める千葉県議会・圏央道推進議員連盟は、11月10日、圏央道建設促進県民会議のメンバーとして、JR成田駅前早期実現のキャンペーンを実施した。

この日は、地元市町の首長など関係者約40人が参加し、成田駅を利用する通勤・通学者にチラシなど配布し、写真、圏央道の早期実現に協力を呼びかけた。

現地を視察 神崎ICなど4カ所



神崎PAで国土交通省の担当者から説明を聞く川名議員(右)

武P A(仮称)は早期供用を図る⑧銚子連絡道路や長生グリーンラインなどICへのア

なお、10月13日(金)に圏央道の連絡調整会議が開催され、千葉県内区間の新たな開通目標として、「神崎IC」大栄JCTは令和7～8年度、「大栄JCT」横芝ICは令和8年度、このうち「大栄JCT」国道296号ICは令和7年度、「神崎P A内回り」は令和7年度(外回り)は令和7～8年度が国土交通省から示された。

川名議員は「開通時期に遅れが生じたのは非常に残念であるが、新たな開通見込みの確実な達成に向け、今後も事業の進捗を厳しく監視していく」と強調した。